

(お知らせ)

柏崎刈羽原子力発電所 5号機原子炉建屋内にある作業用仮設ハウスの
局所排風機用フィルタからの発煙に関する原因と対策について

平成 19 年 3 月 8 日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

当所 5 号機は第 12 回定期検査中ですが、原子炉建屋 4 階オペレーティングフロアの作業用仮設ハウス内において、協力企業の作業員がグラインダーを使用して廃材の切断作業を行っていたところ、2 月 21 日午後 2 時 34 分、当該仮設ハウスの局所排風機*用フィルタからの発煙を確認し、速やかに消防署へ通報するとともに初期消火を実施いたしました。その後、消防署の現場確認により、午後 4 時 5 分に火災の鎮火が確認されました。

(平成 19 年 2 月 21 日お知らせ済み)

調査の結果、廃材の切断作業時に飛散したグラインダーの削り粉が、吸込ホースの吸込口フィルタを溶かし、溶けた吸込口フィルタの一部が局所排風機内に吸い込まれ、局所排風機用フィルタを焦がしたものと推定いたしました。

対策として、火気作業時に局所排風機を使用する場合には、吸込口までの距離を十分確保すること、または、削り粉をしゃ断するための不燃材(鉄板等)の衝立を吸込口の前に設置した上で作業を行うことといたします。また、火気作業を伴う作業計画を検討する際には、安全事例検討会などを行うことにより、火災発生防止に努めてまいります。

以 上

* : 局所排風機

局所排風機は、作業用仮設ハウスの外側から吸込ホース(直径約 30cm)を用いてハウス内の空気を吸引し、ハウス内を負圧に保ち、放射性物質の拡散防止を図るために設置している。局所排風機には粉じん除去用(縦 61cm×横 61cm×厚さ 2 cm)と放射性物質除去用(縦 61cm×横 61cm×厚さ 30cm)の 2 種類のフィルタが設置されており、また、吸込ホースの吸込口にもグラインダーの削り粉が局所排風機へ流入するのを防止するために吸込口フィルタ(縦 50cm×横 50cm×厚さ 2 cm)を取り付けている。